

(公財)日本中学校体育連盟設立70周年記念
令和7年度 全国中学校体育大会
第56回 全国中学校柔道大会

監督会議

(公財)日本中学校体育連盟設立70周年記念
令和7年度全国中学校体育大会
第56回 全国中学校柔道大会

柔の道 心技体の頂点へ!
～福岡で輝く星となれ～

会場 照葉積水ハウスアリーナ
(福岡市総合体育館)
会期 令和7年 8月19日(火)～8月22日(金)

日程
19日(火) 開会式
20日(水) 女子団体戦
21日(木) 男子団体戦
22日(金) 閉会式

【主催】 (公財)日本中学校体育連盟 (公財)全国柔道連盟 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会
【共催】 九州中学校体育連盟 福岡県中学校体育連盟 九州柔道協会 福岡県柔道協会
【後援】 スパーク 全日本中学校柔道連盟 全福岡県中学校柔道連盟 全福岡県中学校体育連盟
【協賛】 (公財)日本PTA全国協議会 日本PTA福岡県協議会 N.H.K. 全国新聞社連盟福岡会
福岡県立中学校校長会 福岡県PTA連合会 (公財)福岡県スポーツ振興 (公財)福岡県スポーツ振興
福岡県立中学校校長会 福岡県PTA連合会 (公財)福岡県スポーツ振興 (公財)福岡県スポーツ振興

令和7年度全国中学校柔道大会スローガン



【柔の道 心技体の頂点へ！

～福岡で輝く星となれ～ 】

◇ 日時： 令和7年8月19日(火) 10:30～11:00
◇ 場所： 照葉積水ハウスアリーナ (多目的室A)

令和7年度 全国中学校体育大会

第56回 全国中学校柔道大会

監督会議次第

進行 福岡県中学校体育連盟副理事長 奥村 彰啓

次 第

- | | | |
|--|--|--|
| 1 開会のことば | 福岡県中学校体育連盟柔道専門部委員長 | 松田 直樹 |
| 2 挨拶 | (公財)日本中学校体育連盟副会長
(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部長 | 阿武 正俊
神谷 兼正 |
| 3 競技上の注意 | 大会審判長 | 中西 英敏 |
| (1) 第56回全国中学校柔道大会の審判申し合わせ事項
(2) 協議 (質疑応答) | | |
| 4 諸連絡 | 福岡市実行委員会
大塚製薬株式会社
東武トップツアーズ(株)福岡教育旅行支店 | 競技部
総務・式典
中野 大介
八重岡 武士
海田 晃平 |
| 5 閉会のことば | 福岡県中学校体育連盟柔道専門部委員長 | 松田 直樹 |

会議・大会日程

8月18日(月)	時 間	場 所
☆ 女子団体戦計量	14:00~15:00	照葉積水ハウスアリーナ

8月19日(火)	時 間	場所(照葉積水ハウスアリーナ)
○ 監督会議	10:30~11:00	多目的室 A
○ 開会式	12:00~12:10	メインアリーナ
○ 競技開始(女子団体戦)	12:30~	
○ 表彰式	17:15~17:30	
☆ 男子団体戦計量	13:00~14:00	サブアリーナ

8月20日(水)	時 間	場所(照葉積水ハウスアリーナ)
○ 審判打ち合わせ	8:50~9:10	多目的室 A
○ 競技開始(男子団体戦)	9:30~	メインアリーナ
○ 表彰式	16:45~17:00	
☆ 女子個人戦計量 ※階級毎	10:00~13:00	サブアリーナ

8月21日(木)	時 間	場所(照葉積水ハウスアリーナ)
○ 審判打ち合わせ	8:20~8:40	多目的室 A
○ 競技開始(女子個人戦)	9:00~	メインアリーナ
○ 表彰式	17:15~17:30	
☆ 男子個人戦計量 ※階級毎	10:00~13:00	サブアリーナ

8月22日(金)	時 間	場所(照葉積水ハウスアリーナ)
○ 審判打ち合わせ	8:20~8:40	多目的室 A
○ 競技開始(男子個人戦)	9:00~	メインアリーナ
○ 表彰式・閉会式	17:15~17:30	

Ⅰ. 本大会要項より <<12 競技規則 13競技方法 14受付・計量・柔道衣点検より抜粋>>

【12 競技規則】大会要項参照

国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」並びに本大会申し合わせ事項による。

【13 競技方法】大会要項参照

(1) 団体戦

- ① 男女とも、参加48チームを3チームずつ16組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位16チームによって決勝トーナメント方式を行う。
- ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

(2) 個人戦

- ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。

※ 勝敗の決定基準は、(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部より令和4年2月7日に発出された「第53回全国中学校柔道大会における競技規則の一部改正について(お願い)」を適用し、以下の通りとする。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 個人戦の勝敗については、団体戦の個々の試合と同じように、本戦において技による得点差がなく、「指導」差2で試合が終了した場合は、僅差による「優勢勝ち」として勝敗を決する。② 得点差がなく、「指導」差1以内の場合は、時間無制限、ゴールデンスコア(GS)による延長戦を行う。GSについては、改正ルールを適用せず、技による得点がない場合「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。 |
|---|

2、本大会申し合わせ事項

(1) 立ち姿勢において後ろ襟を握ることを認める。

(2) 試合中において危険な状態と審判員が判断した場合は、早めに「待て」とする場合がある。

(3) 試合中において受傷し、試合続行に支障をきたす（重大な事故をさらに誘発する危険性の回避）と大会本部が判断した場合は、試合を終了させる場合がある。

(4) 試合に臨むチームや選手の呼び出しについては以下の通りとする。

チーム、選手の呼び出しにあたっては次の通り対応する。試合場内の呼び出して登場しない場合、場内放送で1回目の呼び出しを行う。その後、1分間隔で2回呼び出しの場内放送を行うが、合計3回目終了時に登場しない場合は「失格」とする。失格となった場合、一連の試合に出場できない。

(5) 試合中（「待て」から「始め」の間を除く）の発声について、監督・コーチはベンチからの大声で指示や指導、声援を禁止する（審判員には注意と退場の権限を与える）。

(6) 柔道並びにスポーツ精神に反する反則負け、直接的反則負けについては、その後の試合に出場できないが、例外としてヘッドダビングによる反則負けになっても、その後の一連の試合に出場できることとする。直接的反則負けにより、一連の試合に出場できなくなった選手がいた場合、当試合の主審が大会本部まで、当チーム、当選手、内容を伝える。一連の試合とは、団体戦と個人戦は別とする。

(7) GS 時の抑え込みについて、個人戦は5秒有効「それまで」、団体戦での代表戦の抑え込みは20秒まで見ることにする。

(8) その他、(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部及び、(公財)全日本柔道連盟審判委員会からの通達を適用する。

(9) 競技中において生じた不測の事態（特に定められていない事項）については、大会本部で協議し決定する。

(10) 試合において、審判長および審判委員が適正介入することがありますのでご理解ください。

全柔連発第 24-0609 号
2025 年 3 月 13 日

公益財団法人全日本柔道連盟 加盟団体 各位

公益財団法人全日本柔道連盟
審判委員会委員長 大迫 明伸
〔 公 印 省 略 〕

国内における「少年大会特別規程」における
国際柔道連盟試合審判規程の変更に伴う組み方の緩和による罰則の取り扱いについて

拝啓 弥生の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、平素より本連盟の諸事業に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび国際柔道連盟試合審判規程の変更に伴い、「立ち姿勢において相手の上衣の袖の中に指を入れて組手を取る事」および「寝姿勢において相手の袖・下履きの裾の中に指を入れること」が認められることとなりました。

しかしながら、国内の講道館柔道試合審判規定では、蟹挟が禁止される以前から、袖や裾口に指を入れる組み方の危険性が懸念され、禁止されてきた経緯がございます。

そのため、これまで通り、国内における「少年大会特別規程」では罰則の対象といたします。

本連盟主催の大会におきましては、2025 年 4 月 1 日より本規程を施行いたします。

関係各団体におかれましては、本件の趣旨をご理解いただき、関係者および選手への周知・啓発にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【想定される危険性】

・立ち姿勢

袖口を持たれた選手が強引に組み手を切る際に、袖口に指を入れた選手の指が引っかかり、脱臼や骨折を引き起こす可能性があります。

・寝姿勢

うつ伏せの相手を返す際、下履きの裾の中に指を入れて一気に持ち上げ、頭方向に返すことで、脊椎を損傷する恐れがあります。

【国内での対応】

本連盟では、発育発達段階にある小学生および中学生を危険に晒すことを防ぐため、従来通りこの組み方を認めないことといたします。

・立ち姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組手を取った場合

→直ちに「待て、指導」を適用

・寝姿勢において、相手の袖・下履きの裾の中に指を入れた場合

→直ちに「待て、指導」を適用

【問い合わせ先】

公益財団法人全日本柔道連盟 大会事業課 渡辺・多田・関口
電話 03-3818-4392 メール shinpan@judo.or.jp

国内における「少年大会特別規程」

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行われるが、安全面を考慮し、次の条項を加えて行うものとする。

第17条（抑え込み）

附則として次を加える

寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

第18条 禁止事項と罰則

指導（軽微な違反）

1. 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること。
ただし、技を施すため、瞬時的（1, 2秒程度）に握ることを認める。
（注）中学生は、試合者の程度に応じて、後ろ襟を握ることを認める。
2. 両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。
3. 関節技及び絞技を用いること。
4. 無理な巻き込み技を施すこと。
5. 相手の頸を抱えて大外刈、払腰などを施すこと。
6. 小学生以下が、裏投を施すこと。
7. 「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。
8. 両袖を持って投げ技を施すこと。
9. 立ち姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組手を取ること、下履きの裾に指を入れて組手を取ること。寝姿勢において、相手の袖・下履きの裾の中に指を入れること。

反則負け（重大な違反）

1. 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること。

（附則）

指導（軽微な違反）

1. 「相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること」関係
 - ①「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側（うなじあたり）の範囲をいう。試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。
 - ②「背部を握る」の範囲は、目安として肩の中心線に手首がかかるような状態をいう。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等（内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等）をかけることは、〔瞬時的（1, 2 秒程度）〕の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。
2. 「両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。」関係
両膝を最初から畳につくとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。

3. 「関節技及び絞技を用いること。」関係

①寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。

②故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

4. 「無理な巻き込み技を施すこと。」関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

5. 「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰などを施すこと。」関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰等」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

7. 「「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。」関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

8. 「両袖を持って投げ技を施すこと。」関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則 この申し合わせは、平成22年5月1日から実施する。

この申し合わせは、平成23年6月14日から部分変更して施行する。

この申し合わせは、平成27年3月31日から改正し、平成27年6月1日から施行する。

この申し合わせは、平成27年11月30日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。

この特別規定は、平成30年3月1日から改正し、平成30年4月1日から施行する。

この特別規定は、令和3年3月15日から特別規程と改正し、施行する。

この特別規程は、2022年1月24日から改正し、2022年4月1日から施行する。

この特別規程は、2023年12月8日から改正し、2024年4月1日から施行する。

この特別規程は、2025年3月13日から改正し、2025年4月1日から施行する。

令和7年4月吉日

(公財)日本中学校体育連盟
柔道競技部ブロック長の皆様
都道府県柔道競技部専門委員長の皆様

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部
部長 神谷 兼正
(公印省略)

2025-2028 国際柔道連盟審判規程の適用について(通知)

拝啓 早春の候、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は日本中学校体育連盟柔道競技部の活動に際しましてご支援ご協力を賜り、誠に有り難うございます。

さて、全日本柔道連盟主催の国内大会は、令和7年4月より「2025-2028 国際柔道連盟審判規程」の適用となりますが、全国中学校柔道大会についても「2025-2028 国際柔道連盟審判規程」を軸に、国内における「少年大会特別規程」及び「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」を適用して運営することになっています。下記に留意点をまとめましたので、各都道府県関係各位にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。また、「正しい柔道」の在り方、及び、「発育発達段階」である中学生への安全を最優先した大会運営をお願いいたします。

敬具

記

「2025-2028 国際柔道連盟審判規程」留意点

- ① 技の判定について、「有効」 ※新ルール適用
- ② 場外に出る行為 ※新ルール適用
例として次の行為は「指導」 ①立ち技で組まないで場外にでる。 ②寝技ではって場外にでる。
なお、試合場の広さ、周囲の状況を考慮し、各都道府県の大会申し合わせ事項で適宜対応すること。

「少年大会特別審判規程」留意点

- ① 逆背負投（通称） → 「待て、指導」 ※旧ルール通り
- ② 立ち姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組み手を取った場合
→直ちに「待て、指導」を適用 ※旧ルール通り
- ③ 寝姿勢において、相手の袖・下履きの裾の中に指を入れた場合
→直ちに「待て、指導」を適用 ※旧ルール通り

「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」

- ① ダイビング（通称） → 「反則負け」 ※旧ルール通り
- ② ユージングザヘッド（通称） → 「待て、指導」 ※新ルール適用
- ③ ヘッドディフェンス（通称） → 「待て、指導」 ※新ルール適用
但し、「ブリッジ」は従来通り、「一本」とする。

以上

試合場におけるコーチの振る舞いについて

(公財) 全日本柔道連盟

コーチの場所

原則として、各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、赤・白の選手にコーチ1名が座れる椅子を設置する。

ただし、伝統的にコーチ席を設けていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

コーチの役割

- ① コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
- ② コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持つ。

コーチの言動

- ① 大会が発行するコーチIDを必ず付けていなければならない。
- ② 次の行為を禁止する。
 - ・ 試合中に立ち上がること
 - ・ 審判員に対し、コメントや批判をすること
 - ・ 審判員の決定に訂正を要求すること
 - ・ 審判員、役員、一般客に対し、悪態をつくこと
 - ・ 広告やその他の機器に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること
 - ・ 対戦相手（コーチ）、審判員、役員、一般客、及び自分自身の選手を侮辱するような行為
 - ・ その他、柔道精神に反する行為

コーチの服装

原則として、審判員に準じた服装とする。

罰則

上記に違反した場合、1回目は口頭による注意で、2回目に違反した場合はその選手のコーチ席は没収され、そのコーチは大会期間中、他の選手のコーチにつくことも禁止する。

競技部より

1、本大会要項より <<14受付・計量・柔道衣点検より抜粋>>

【14 受付・計量・柔道衣点検】大会要項参照

- (1) 計量は「照葉積水ハウスアリーナ サブアリーナ」で実施し、時間は要項を参照する。
- (2) 団体戦の計量については必ず監督または ID が発行されているコーチが立ち会うこと。
個人戦計量については、監督・コーチは計量会場には入れない。
- (3) 公式計量の服装については、次の通りとする。
団体戦 ○男子は下穿き、女子は試合用Tシャツと下穿きとする。
個人戦 ○団体戦と同様、又は下穿きの代わりに下着又はスパッツの着用を認める。
※団体戦、個人戦どちらの場合においても、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
- (4) 個人戦の計量において、別室計量希望者は、公式計量前に競技役員（計量係）に申し出て、別室にて計量を受けることができる。
- (5) 柔道衣点検について
 - ① 試合当日、待機席への入場前に試合場係が目視にて行う（IJF マーク含）。
※なお試合途中、審判員により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計測器を用いて検査する。規格不適合と判断された場合は、同チームの別の柔道衣（規定にあったもの）に着替えを行う。代替の柔道着がない場合は、相手選手の「棄権勝ち」とする。
 - ② 現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（新規格の赤色のマーキングのもの）
 - ③ 柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
 - ④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規程
（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

2、試合について

(1) 試合の進行

- ① 試合の進行は、プログラムの試合番号順に進める（個人戦の対戦表は掲示しない）。
- ② 団体戦の第1試合、決勝トーナメント1回戦、決勝トーナメント2回戦、準決勝は一斉に始める。
- ③ 個人戦の第1試合、準決勝は一斉に始める。なお決勝戦は、第2・3試合場で2階級ずつ揃えて進める。

(2) 試合場掲示について

個人戦の対戦表は掲示しない。但し、各試合場と当日練習会場にて試合番号を掲示する。
また、記録結果速報サイト（QRコード）を活用し、確認してください。

(3) 試合場への入場制限について

各試合会場の待機席 女子団体・・・紅白各 3 チーム (試合中のチーム+2 チーム)
男子団体・・・紅白各 2 チーム (試合中のチーム+1 チーム)
男女個人・・・紅白各 6 選手 (試合中の選手+5 選手)

※入場後は試合会場の待機席で座って待つ。試合終了後、速やかに退場する。

(4) 試合会場 (メインアリーナ) への入場について

試合会場入り口にて、選手招集係から ID・紅白紐のチェックを受ける。

(5) 救護

医師は選手の怪我等の診断のみで治療行為は行わない。場合によって応急処置のみ行う。

(6) 礼法について

(公財) 日本中学校体育連盟柔道競技部より平成31年4月13日に発出された「試合における礼法指導及び柔道衣の正しい着装の徹底について」に則り、選手の礼法はしっかりと正しく行わせてください。

《主審の礼法管理義務》

試合場外での立礼の管理義務はないが奨励されている。両選手が揃ったら両手で示唆し、試合場内に歩み足で進ませる。試合開始線 (畳2間分の内側に貼られた識別テープ) を踏まない位置につま先を合わせさえ、相手選手と正対するまで「気をつけ」の姿勢で静止させる。正対後の互いの礼は、同時に一呼吸4呼間のタイミングで体側にある両手を大腿前方にすべらせながら正しい立礼を行わせる。左前右後の原則にしたがって左足、右足と前方に踏み出したら自然本体で止まらせる。手をあげたり構えたりする臨戦態勢は認めない。正しい所作で2秒程度静止させた後、「はじめ」を宣言する。

(7) 体力測定について

本大会において、体力測定を男女個人戦の日程で実施します。試合が終わった選手は動きやすい格好で、照葉積水ハウスアリーナ1F **多目的室 A** に来てください。必ず、**体力測定を受けるようにご協力をお願いします。**

3、団体戦選手変更について

- (1) 団体戦当日に選手変更する際は、速やかに受付時に配布した【選手変更届】に必要な事項を記入の上、メインアリーナ入口付近の【オーダー変更】に用紙を提出してください。
- (2) 選手変更締め切りは、女子団体は当試合の2試合前までが終了するまで、男子団体は1試合前が終了するまでとする。但し、準決勝・決勝はその限りではない (早めの提出をお願いします)。

※計量または登録選手変更による団体戦での選手順等の変更があった場合、【オーダー変更】横に掲示するので、確認してください。

※登録選手変更については、大会要項 19 その他の (1) 選手の変更について①団体戦ウを参照すること。

総務部より

1、IDについて

- (1) 選手・監督・コーチ・付添者は、IDを常に首から下げて提示できるようにしてください。試合会場（メインアリーナ）に入場できるのは、当該日のID保持者のみです。またIFへの入場も、当該日のID保持者、計量をうけるID保持者のみとなります。
- (2) IDは大会期間中、紛失することがないように各自で管理してください。

2、照葉積水ハウスアリーナ（福岡市総合体育館）の使用について

- (1) ゴミについては、各自持ち帰りとなっています。また、セブンイレブン内のごみ箱に、購入物以外のごみを入れないで下さい。
 - (2) 部旗・応援旗の掲示は禁止します。
 - (3) 試合会場（メインアリーナ）、練習会場（サブアリーナ・武道場）、計量会場は全て土足厳禁となっています。各チームは、受付時に配布した歓迎袋の中に、下足入れ袋を入れているので、それを使用してください。
 - (4) 試合会場（メインアリーナ）と当日練習会場（サブアリーナ）をつなぐシートを準備しています。そのシートは、裸足で移動しても大丈夫ですので、靴でそのシートの上は歩かないようにお願いします。
 - (5) 喫煙場所は、北側1階（駐車場側）外に喫煙所が設置されています。マナーを守り、必ず保護者にも周知するようにお願いします。
- ※大会期間中は、照葉積水ハウスアリーナは貸切ではありません。トレーニング室等を利用する一般利用の方もいらっしゃいます。
- (6) 駐車場は、駐車券が必要です。駐車券がない車は駐車できません。近隣のコインパーキングをお探してください。また、近隣の商業施設には絶対に駐車しないで下さい。

3、更衣場所・荷物について

○当日試合者

- ・女子は、2F 武道場の更衣室を使用する。荷物は、メインアリーナ観客席の該当するブロックの場所（席）に置いてください。
- ・男子は、メインアリーナ観客席の該当するブロックの場所で着替え、荷物は席に置いてください。

※荷物を置く際は、場所取り等はせず、該当するブロック席の後ろにチームでまとめて置くように、監督・コーチは指示をお願いします。

○前日試合者またはフリーの時間帯での前日練習会場利用者

- ・女子は2F 武道場の更衣室を使用し、荷物は武道場3F 観客席に置いてください。
- ・男子は、武道場3F 観客席にて更衣を行い、荷物もその場所に置いてください。

○貴重品の管理は、各チームで確実に行ってください。

4、練習会場について

- (1) 当日練習会場・前日練習会場で入場できるIDの色があります。また、前日練習会場を使用できる自由開放の時間もありますが、必ずIDカードが必要となります。時間帯等については、大会要項や大会参加にあたってのお願いをご確認ください。
- (2) 練習会場で練習できるのは選手と個人戦付添者のIDを所持した方のみです。
中学生以外が柔道衣を着て練習相手になることはできません。

5、医療救護について

- (1) 照葉積水ハウスアリーナ（メインアリーナ・サブアリーナ・武道場）には、医師3名、柔道整復師3名、救護員の2名が常駐します。必要に応じてお声掛けください。但しその場合は、監督の先生が同席するようにお願いします。
- (2) 宿舎等から医療機関を受診した際は、大会本部に報告するようにお願いします。

◇大会本部【第56回全国中学校柔道大会実行委員会本部】 連絡先 TEL 090-1974-2662（委員長携帯）

- (3) 試合会場・練習会場で救急車の要請が必要となった場合は、大会本部に連絡してください。大会本部が救急車の要請をします。

6、弁当の引き換え等について

- (1) 弁当の引き換えは、会場内指定弁当引換所にて、10:30～12:00の間で行います。
- (2) 弁当受け取り後1時間以内に必ずお召し上がりください。また、お持ち帰りはご遠慮ください。
- (3) 弁当の空き容器は、14:30までに引換所にご持参ください。間に合わない場合は、必ずお持ち帰りください。

7、その他

- (1) 紅白紐は大会実行委員会で準備していますが、各チーム・個人で準備して頂いても構いません。各会場で、紅白紐の貸出を行っています。
- (2) 受付時に配布した歓迎袋の中に、選手変更届（団体戦出場チームのみ）、大会参加費の領収書、下足袋等が入っています。また大塚製薬よりスクイズボトルが配布されています。宿泊の領収書は、宿泊申込みサイトから領収書の手配を行ってください。
- (3) プログラムの販売ブースにて、引換券を係の者にお渡しください。お金と引き換えてプログラムをお渡しします。一般販売も行っていますが、数に限りがあります。
- (4) 屋外に出店ブースが設置されています。
- (5) 感染症対策については、大会要項 19 その他 (2) 負傷・疾病等について ④を参照してください。
- (6) 男子団体決勝戦前に、投の形の演武を行います。

式典係より

1、開会式

- (1) 開会式への参加は、女子団体戦出場する全チームとなります。11時55分までには整列し、待機するようにお願いします。整列の順番については、【大会参加にあたっての連絡とお願い】を参照してください。
- (2) 開会式終了後、選手は一旦試合会場から全員退場し、選手招集で受付を行い、試合会場へ入場してください。試合会場で12時25分までウォーミングアップの時間を確保します。

2、敢闘賞及び5位の賞状授与について

団体戦において敢闘賞（ベスト16）、5位（ベスト8）に入賞。個人戦において5位（ベスト8）に入賞したチームや個人に、賞状が授与されます。照葉積水ハウスアリーナ1Fメインアリーナ A1 出入口付近の賞状受け渡しブースにお越しください。

3、表彰式その後の動き

- (1) 表彰式に参加するチーム及び選手の参集範囲は以下の通りとします。
 - ①男女団体戦及び男女個人戦において、優勝・準優勝・3位（団体2チーム・個人2名）に入賞したチーム及び選手とする。
 - ②団体戦においては、男女ともに大会登録選手全員の参加とする。
 - ③男女個人戦においては、選手本人が参加する。都合により、代理人を立てる場合にはその旨を式典係に伝える。
- (2) 表彰式に参加するチーム及び選手の参集場所は、1Fメインアリーナの可動席の前列とする。準決勝以降、待機をしてください。
- (3) 表彰式後の動きについて
 - ①表彰式終了後、入賞した選手やチームにはオフィシャルの写真撮影が行われます。写真撮影は、オフィシャル⇒報道⇒一般（保護者等）の順で行います。時間に限りがありますので時間厳守でお願いします。撮影時間については、アナウンスに従ってください。
 - ②写真撮影後、メダルケース・トロフィーの箱を忘れずにお持ち帰りください。

4、閉会式

- 男子個人戦表彰式後に閉会式が行われます。閉会式終了後、男子個人選手のオフィシャルの写真撮影が行われます。

(公財) 日本中学校体育連盟設立 70 周年記念
令和 7 年度 全国中学校体育大会
第 56 回全国中学校柔道大会

開会式【8月19日(火)】 12:00(開式通告)～

1 開式通告

2 開会宣言 大会委員長 神谷 兼正

3 あいさつ 日本中学校体育連盟副会長 阿武 正俊

福岡市教育長 下川 祥二

4 優勝旗返還 女子 奈良県 五條市立五條東中学校

男子 埼玉県 埼玉栄中学校 ※紹介のみ

5 選手宣誓 福岡市立千代中学校 占部 寿

福岡市立元岡中学校 北脇 彩咲

6 閉式通告

女子団体戦表彰式【8月19日(火)】 男子団体戦表彰式【8月20日(水)】

17:15～

16:45～

1 開式通告

1 開式通告

2 表彰

2 表彰

3 閉式通告

3 閉式通告

女子個人戦表彰式【8月21日(木)】 男子個人戦表彰式【8月22日(金)】

17:15～

17:15～

1 開式通告

1 開式通告

2 表彰

2 表彰

3 閉式通告

3 閉式通告

閉会式【8月22日(金)】※男子個人戦表彰式終了後

1 開式通告

2 あいさつ 日本中学校体育連盟副会長 阿武 正俊

4 閉会宣言 大会委員長 神谷 兼正

5 閉式通告

第56回全国中学校柔道大会 参加にあたっての連絡とお願い

1 申し込みについて

- (1) 引率・監督は『大会参加申込要領』に従い、各提出書類・参加料等を都道府県委員長へ提出してください。
- (2) 宿泊・弁当申込につきましては、『大会参加申込要領』の『宿泊・弁当申込要項』に従い、申し込みをお願いします。不明な点は業者に直接お問い合わせください。
※指定宿泊業者以外の宿泊は認められません。

2 受付について

- (1) 受付は、右記の時間帯で照葉積水ハウスアリーナ 2階廊下で行います。混雑を避けるため、受付場所には、引率・監督（又はコーチ）のみでお願いします。プログラム注文者は、プログラム販売ブースで代金引換で行います。

選手・監督・コーチ 受付時間

対象者	日時	
女子団体戦出場者	8月18日(月)	12:00~15:00
男子団体戦出場者	8月19日(火)	11:30~15:00
女子個人戦出場者	8月20日(水)	8:30~13:00
男子個人戦出場者	8月21日(木)	

3 計量について

- (1) 公式計量の場所は、照葉積水ハウスアリーナ 1階サブアリーナです。2階北側階段から計量会場に進んでください。
- (2) 各計量時間は、大会要項を確認してください。公式計量会場に入場する際には係員がIDの確認を行いますので、IDは首から下げて提示してください。
- (3) 指定された時間内において1回のみ公式計量を行います。
- (4) 照葉積水ハウスアリーナ武道場（前日練習会場）内に非公式計量用の体重計（公式計量と同じ体重計）を2台設置します。
- (5) 団体戦計量は、監督（コーチ）のサインが必要です。必ず、監督（コーチ）が立ち会ってください。
- (6) 個人戦計量の失格者については、本人のサインで処理します。監督は計量会場（1F）に入れません。
- (7) 別室計量を希望する場合は、体重計に乗る前に予め係員に申し出てください。
- (8) 計量時の服装は、係員の指示に従ってください（「大会要項 4 受付・計量・柔道衣点検」参照）。

4 柔道衣点検について

- (1) 計量時の服装は、係員の指示に従ってください（「大会要項 4 受付・計量・柔道衣点検」参照）。
- (2) 柔道衣点検は、試合当日、待機席前にて係員が目視による点検及びIJFマークの確認を行います。なお、試合途中、審判により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計量器を用いて検査します。規格不適合と判断された場合は、同チームの別の柔道衣（規格適合しているもの）に着替えて、試合を行うことができます。代替柔道衣がない場合は、相手選手の「棄権勝ち」となります。
※サポーターを着用し、試合を行う選手は、点検前に係員まで申し込んでください。

5 各会場の入退場について

- (1) 今大会では、**入場制限は設けません**。但し、都道府県関係者にリストバンドを配布します。
- (2) リストバンドの色は次の通りです。**女子団体（赤）男子団体（緑）女子個人（紫）男子個人（青）**。
各日程で**指定された色のリストバンドが有効**になります。お間違いないようにお願いします。リストバンドの再配布は行いません。
- (3) **リストバンドの配布においては、会場での受付にて歓迎袋に同梱しておりますので、チームの監督・コーチは、配布をお願いします。**
- (4) リストバンドは、**必ず手首につけ、入場の際に係員に見えるようにお願いします。**
- (5) リストバンドの配布数については下記の表のとおりです。また混雑緩和のため、入場時間と入場できる入口も以下の通りに分けます。

都道府県関係者 リストバンド配布数

日 程				配布数	色
8月19日	火	女子団体戦	1名につき4本+4本⇒	20本	赤
8月20日	水	男子団体戦	1名につき4本+4本⇒	32本	緑
8月21日	木	女子個人戦	1名につき	4本	紫
8月22日	金	男子個人戦	1名につき	4本	青

ア) 入場時間について

【当日試合がある選手・監督・コーチ】【当日外の選手・監督・コーチ】【都道府県関係者】
【それ以外の応援者（リストバンド無し）】で、混雑緩和のため大会会場への入場時間に時間差をつけます。入場できる時間は下記の表のとおりとします。

入場時間について

	当日 選手・監督・コーチ・ 付添者（個人のみ）	当日外(ID所持) 選手・監督・コーチ・ 付添者（個人のみ）	①都道府県関係者 ②見学者・協賛者	①応援者 リストバンドなし ②選手・監督・コーチ IDなし ③見学者・協賛者・・IDなし
8月18日 月	12:00～			
8月19日 火	10:00～	10:30～		11:00～
8月20日 水	8:00～	8:30～		9:00～
8月21日 木	7:30～	8:00～		8:30～
8月22日 金	7:30～	8:00～		8:30～

イ) 会場入口を次の通りとします。

①当日試合がある選手・監督・コーチ ②当日外の選手・監督・コーチ・・ID所持者 ③都道府県関係者・・指定された色のリストバンド所持者 ④見学者・協賛者・・ID所持者	体育館南側2階入口 (セブンイレブン側)
①【応援者（リストバンドなし）】 ②選手・監督・コーチ・・IDなし ③見学者・協賛者・・IDなし	体育館北側2階入口



(6) 周辺住民の方に迷惑となりますので、朝早く並ぶような事がないようにしてください。

尚、駐車場の開場時間は以下の通りです。

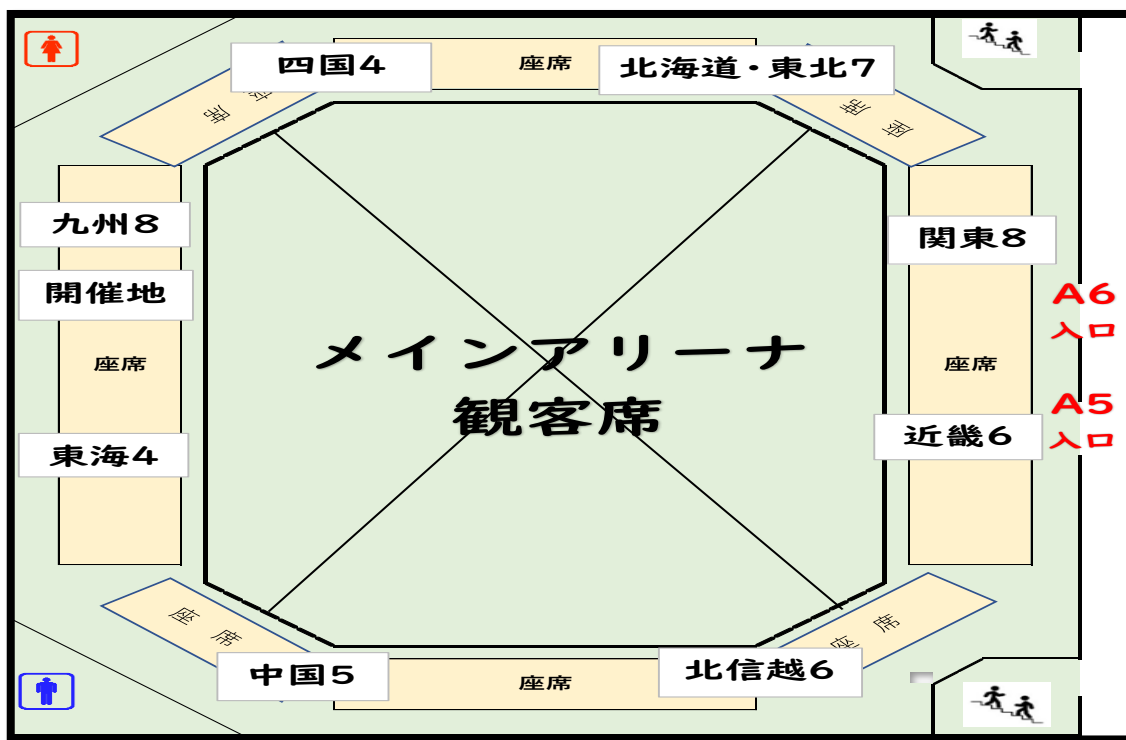
駐車場 開場時間について

日程		駐車場開場時間
18日(月)	女子団体計量	11:00
19日(火)	女子団体戦	9:00
	男子団体計量	
20日(水)	男子団体戦	7:30
	女子個人計量	
21日(木)	女子個人戦	7:15
	男子個人計量	
22日(金)	男子個人戦	7:15

※駐車場に入るために渋滞が起きますと、周辺住民の皆様のご迷惑となりますので、**開場時間以降に駐車場に到着**するようにお願いします。また、**駐車場開場時間前の車の駐停車は、渋滞回避のために禁止**させていただきます。ご協力とご理解をお願いします。

(7) 試合開始以降、北側・南側入口の制限はありません。

(8) リストバンドがある・なしに関わらず、必ず**指定されているブロックの席で観戦**してください。



※物を置いての場所取りはやめてください。選手の皆さんの荷物は、2階観客席の通路（壁側）にチーム毎にまとめて置くようにしてください。但し、通路をふさぐような置き方はしないようにお願いします。また、座席に荷物を置くと、座れなくなってしまう恐れがありますのでおやめください。また、当日練習会場に、荷物を持っていくのもおやめください。

(9) 各IDで入場できる場所については、下記の表をご確認ください。

	当日 選手・監督・コーチ	当日外 選手・監督・コーチ	個人戦 付添者ID	見学者・協賛者
メインアリーナ	○	×	×	×
2階観覧席	○	○	○	○
階段(1階⇄2階)	○	○(計量のみ)	○(当日のみ)	×
当日練習会場 (サブアリーナ)	○	×	○(当日のみ)	×
前日練習会場 (武道場)	×	○(時間帯による)	○(前日のみ)	×

(10)ID カードについて

ア 選手・監督・コーチについて

- ・選手・監督・コーチIDカードとネックストラップは、女子団体（赤）、男子団体（エメラルドグリーン）、女子個人（紫）、男子個人（エメラルドブルー）で色分けしています。館内の階段を使用する際に、係員がカードとネックストラップの色で識別し、入場制限を行います。
- ・試合会場（メインアリーナ）への入場制限については、以下の通りです。

女子団体	試合前の3チームまで入場できます
男子団体	試合前の2チームまで入場できます
男女個人	試合前の5選手まで入場できます

- ・都道府県関係者（保護者等）は、1階には下りられません。

イ 個人戦付添者について

- ・入退場の際には、事前配付した『個人戦付添者 I D』を各自で準備したネックストラップ付きのケース中に必ず入れ、首から下げて入退場を行ってください。なお、ネックストラップ付きケースを忘れた方には、会場（プログラム販売ブース）で有料販売（1個300円）いたします。
- ・団体選手が個人戦付添者となる場合には、団体で使用した I Dではなく、「個人戦付添者 I D」を使用してください（団体 I Dでは1階に下りられません）。
- ・練習会場において、中学生以外が柔道衣を着用し付添者として練習相手をする事は認めません。



(11) 当日試合者の練習会場は、サブアリーナです。利用時間は、要項を確認してください。

6 開閉会式・表彰式について

(1) 開閉会式の簡略化について

- ①今大会では、開会式で女子団体参加選手のみ整列します。並びに関しては、下記をご確認ください。

来賓・大会役員席																										
本部																										
開催地男	開催地女	福岡	熊本	大分	鹿児島	高知	徳島	山口	岡山	鳥取	大分	滋賀	奈良	愛知	静岡	福井	富山	長野	神奈川	千葉	群馬	茨城	山形	宮城	青森	北海道
		佐賀	長崎	宮崎	沖縄	愛媛	香川	広島	島根	和歌山	兵庫	京都	三重	岐阜	石川	新潟	山梨	東京	埼玉	栃木	群馬	茨城	山形	宮城	青森	
九州						四国			中国		近畿		東海		北信越			関東			東北					
2試合場													3試合場													

- ②開会式は、「開会宣言」「優勝旗返還（女子のみ）」「あいさつ」「選手宣誓」を実施します。閉会式は、「男子個人戦表彰式」終了後に、「あいさつ」「閉会宣言」を実施します。
- ③昨年度男子団体優勝チームの「優勝旗・優勝杯返還」「バナー・レプリカの授与」は、開会式の「優勝旗返還」の中で放送にて紹介します。また、受付にて「優勝旗・優勝杯」の受け取り、「バナー・レプリカ」をお渡しします。
- ④開会式への参加選手は、１１：５５までに整列してください。１２：００より開会式を開始します。
- ⑤開会式終了後、１２：２５までは試合場を利用しての練習を認めます。但し、開会式の時間により、練習時間を確保できない場合がありますので、ご承知ください。

⑥閉会式への参加は、男子個人戦表彰式の受賞選手となりますので、ご承知ください。

(2) 表彰式の簡略化について

- ①団体戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰。第5位及び敢闘賞は放送にて紹介します。
- ②個人戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰。第5位は放送にて紹介します。
- ③団体戦優勝チーム、個人戦優勝者のみ賞状を読み上げ、賞状、メダル等の授与を行います。
- ④第5位及び敢闘賞の賞状は、**1階メインアリーナ【A1】の入口**にて実行委員会から監督または選手に渡します。
- ⑤表彰式は、決勝戦終了後直ちに実施します。表彰されるチーム、選手のみなさんは速やかに受賞者待機場所（メインアリーナ 可動席）に集合してください。

7 医療救護について

- (1)「健康保険証」をご持参ください。
- (2)怪我をした場合、応急処置を行いますが、必要に応じて医療機関に移送します。その際、当該チームの関係者または保護者が同行してください。医療費は受療者負担となります。

8 会場内の駐車場及び会場までのアクセスについて

- (1) 駐車場は、**駐車券を持たない方の駐車はできません**。ご理解とご協力をお願いいたします。
- (2) 駐車券は、各日程で色が決まっています。
- (3) 駐車場内は徐行運転をお願いします。
- (4) 照葉積水ハウスアリーナまでのアクセスに関しては、別紙「道路案内図」の内容を参考にしてください。

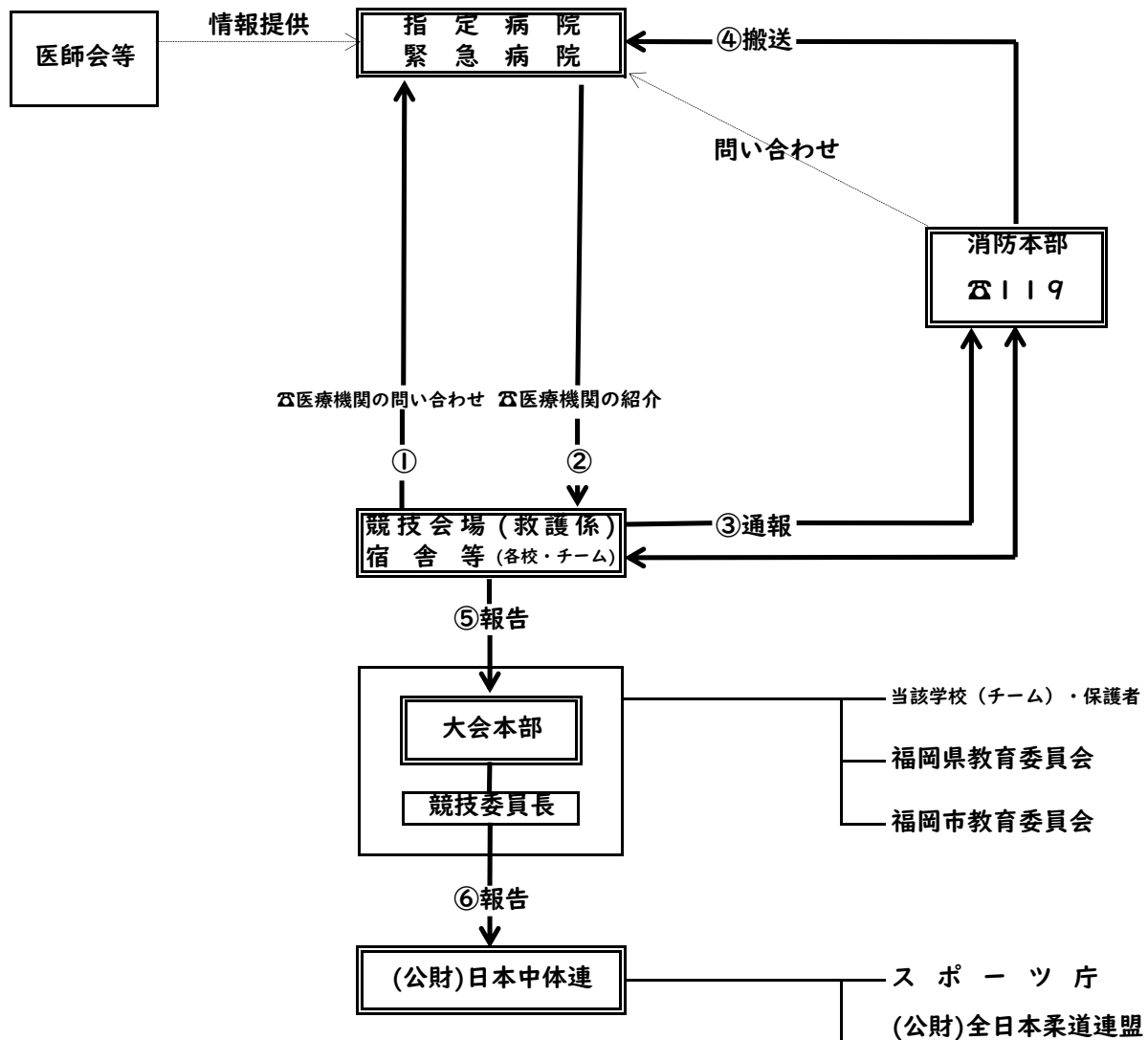
9 その他

- (1) 参加者及び関係者は、必ず都道府県委員長からの連絡事項を確認してください。
- (2) 災害時の緊急避難については、会場職員、競技役員の指示に従ってください。
- (3) 大会会場での部旗・応援旗等の掲示は禁止します。
- (4) 貴重品の管理は各自の責任で行ってください。
- (5) 監督会議への参加は、各都道府県より代表監督1名とします。
- (6) インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応については、令和7年6月5日付けで日本中学校体育連盟から出されている「令和7年度全国中学校体育大会実施上のインフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」をご確認ください。
- (7) 本大会に関する様々な連絡・情報は、大会HPに掲載します。随時、ご確認ください。
- (8) 全柔連TVにて大会期間中の試合をライブ配信します。また、大会終了後にアーカイブ配信も行います。個人情報の取り扱いに関しては『大会参加申込要領』の「個人情報及び著作権に関わる取り扱いについて」をご確認ください。
- (9) 紅白帯は、実行委員会にて用意します（各チームで用意していただいても構いません）。
- (10) 照葉積水ハウスアリーナの各会場は土足厳禁となっております。下足入れ袋等をご準備ください。よろしくお願いいたします。
- (11) 防災上、階段に座っての観戦、荷物を置いて座席や階段・通路を塞ぐことのないようにお願いします。
- (12) 飲食は、2階観覧席または屋外でお願いします。
- (13) ごみは、必ずお持ち帰りください。
- (14) **指定旅行者から購入した弁当の空き箱**等は、**1階北側外階段下の東武トップツアーズのデスク**にて回収します（**当日 14:30 まで**）。

医療・救護要項

- 1 目的 令和7年度全国中学校体育大会 第56回全国中学校柔道大会（以下「大会」という）に参加する選手・監督・コーチ・役員（審判）・生徒役員・都道府県関係者等の大会関係者、出店業者・報道関係者等の来場者に対する安全確保と、医療救護の万全を期するために、競技会場に救護室を設置し、医療関係者との連携を図ることを目的とする。
- 2 競技会場
- ①救護室の役割
 - ・ 救護室では、応急処置および軽易な治療を行うものとし、必要に応じて医療機関に患者を移送する。
 - ②救護者の設置
 - ・ 救護者の構成は、医師・柔道整復師・看護師・係員（競技本部兼務）とする。
 - ・ 試合会場には医師・柔道整復師・看護師・係員（競技本部兼務）、練習会場には柔道整復師を配置する。
 - ③救護室の設置場所
 - ・ 福岡市総合体育館1Fの救護室を救護室とする
 - ④救護室の開設時間
 - ・ 8月19日（火）～22日（金）
競技開始30分前から競技終了30分後までを原則とし、必要に応じて開設時間を延長する。
 - ⑤救急医療機関（病院名 住所 電話）
 - ・ 救護関係一覧を参照
- 3 患者発生時の対応 事故が発生した場合は、速やかにその状況を各関係者（主催団体・責任者・保護者）に報告し、早急な連絡を取ることにする。
- ① 緊急処置
- | | | | | |
|---------|---|------|---|---------|
| 医師等・救護係 | → | 大会本部 | → | 救急・指定病院 |
|---------|---|------|---|---------|
- ② 事故報告
- | | | | | |
|---------|---|-----------|---|---------------------------------------|
| 医師等・救急係 | → | 大会本部 | → | 当該学校（チーム）・保護者
福岡県教育委員会
福岡市教育委員会 |
| | | ↓ | | |
| | | 競技委員長 | | |
| | | ↓ | | |
| | | (公財)日本中体連 | → | スポーツ庁
(公財)全日本柔道連盟 |
- 事故にあたっては、次のように適切かつ迅速に対応するとともに、報告・報道の窓口をひとつにして対応する。また、事故発生に係わる正確な報告書(救護・様式-4)を作成する。
- ① 会場で発生した場合
 - ・ 会場の救護室での対応をする。
 - ・ 会場の救護室で対応できないと判断した場合は、指定病院・救急病院へ移送する。
 - ② 宿舎で発生した場合
 - ・ 宿舎で医療機関の紹介または救急車を呼び対応する。
 - ③ 移動中に発生した場合
 - ・ 各校で症状に応じて、指定病院・救急病院に連絡または救急車を呼び対応する。
 - ④ ②③のうち、医療機関に移送する場合は、各学校（チーム）の関係者が同行し、各学校（チーム）の責任において移送するとともに、状況を速やかに大会本部に連絡する。

【医療救護体制図】



4 医療機関

①受診の方法

- ・ 応急処置後に医療機関に移送する場合は、医師又はその他の者が発行する「受診依頼書」(救護・様式-3)を発行し、患者に交付する。なお日本スポーツ振興センター加入の中学生には、「医療の状況」も一緒に交付する。
- ・ 患者は医療機関で受診の際、受診依頼書を提出し、大会参加者であることを明らかにするとともに保険証を提示する。

②医療費の負担

- ・ 実行委員会が負担する医療に要する経費は、応急処置および軽易な治療に要した経費とし、その他の医療費については受療者が負担する。

5 事務処理

次の様式により業務を記録し、当日の業務終了後、総務部長に提出する。

- ・ 救護台帳 (救護・様式1) 患者を受け付けたときに記入する。
- ・ 救護日誌 (救護・様式2) 当日の業務を記録する。
- ・ 受診依頼書 (救護・様式3) 医療機関へ移送する場合に記録する。
- ・ 事故報告書 (救護・様式4) 医師等の指示による処置を記録する。
- ・ 取扱患者一覧表 (救護・様式5) 当日に取り扱った患者を集計する。

6 救護者配置計画

試合会場：メインアリーナ医師2名、柔道整復師1名
練習会場：サブアリーナ 柔道整復師1名 看護師1名
武道場 柔道整復師1名 看護師2名
救護室：医師1名 看護師1名

受 診 依 頼 書

医療機関

様

令和7年度全国中学校体育大会
第56回全国中学校柔道大会
福岡市実行委員会 会長 赤池 潤

下記の者に対する診療をお願い致します。

記

救 護 所 名			
受 付 時 間	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分頃		
競 技 名	柔 道	区 分	選手・監督・役員・生徒役員 その他 ()
氏 名	(男・女)		年齢 歳
住 所	Tel () -		
保険証の所持 (有 ・ 無)			
(症状及び訴え等)			
記入者名			

※ 受診依頼書は、必要事項を記入した後、必ず控え（コピー）をとり総務部に保管する。

※ 受診依頼書は、事前に医療機関へ FAX で送付しておいて下さい。

令和7年度全国中学校体育大会
第56回全国中学校柔道大会
福岡市実行委員会 会長 赤池 潤

事故報告書

このことについて、下記により報告いたします。

大会名等	(公財)日本中学校体育連盟設立70周年記 令和7年度全国中学校体育大会 第56回全国中学校柔道大会		
日時	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分		
場所		所属名	
ふりがな 生徒名	(男・女)	保護者名	
		連絡先Tel	
生徒住所			
競技名	柔道	区分	選手・監督・役員・生徒役員 その他 ()
事故等の概要・怪我の程度・対応等			
記載責任者役職・氏名 (.)			

照葉積水ハウスアリーナ(福岡市総合体育館) 避難経路図

避難経路図

避難方向

